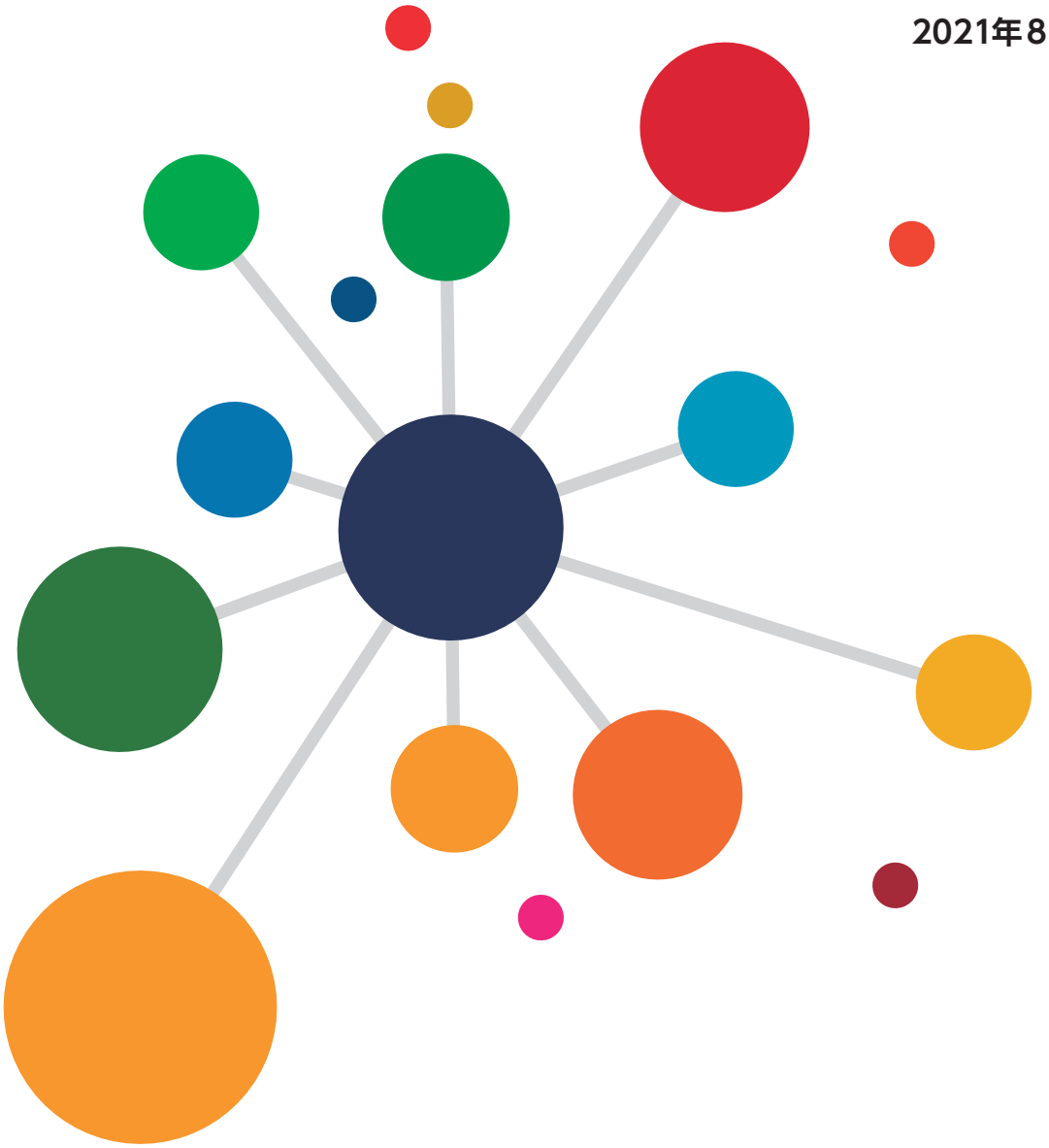
®環境省
エコアクション21
認証番号 0013348

ASIA AND PACIFIC TRADE CENTER

2020
環境経営レポート

対象期間
2020年4月1日～2021年3月31日

作成日
2021年8月2日



ATC
ASIA AND
PACIFIC TRADE CENTER

アジア太平洋トレードセンター株式会社

夢洲にいちばん近い ATC

ごあいさつ

当社は、大阪ベイエリアの咲洲（さきしま）地区で、大型複合施設「ATC」を運営しております。

延べ床面積 33 万㎡に及ぶ建物には、オフィスやショールーム、レストラン、物販店舗にご入居いただき、「ATCホール」では展示会、イベントなどの貸館や自主企画イベントを実施し、多数のお客様にお越しいただいております。

また、介護福祉、環境ビジネス、輸入住宅建材等の常設展示場やデザイナー・クリエイターの創業支援施設を大阪市とともに運営し、当館を利用したIoT、RT（ロボットテクノロジー）を活用した実証事業などの取組を通じて、社会課題の解決や地域活性化にも積極的に取り組んでおります。

2025 年には隣接する夢洲（ゆめしま）において SDGｓの達成を目指して大阪・関西万博が開催されますが、当社も「エコアクション 21」の取得、運用を通じて、環境経営を推進し SDGｓの達成に貢献するとともに、近隣の施設・企業・団体や地域住民の皆様とともに、大阪ベイエリアの発展に寄与して参ります。

環境経営方針

環境経営理念

大阪ベイエリア咲洲地区で大型複合施設「ATC」を運営する弊社は、不動産賃貸及び管理、催事・展示会の企画及び開催、各種の公共施設の運営を通じて、国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた地球温暖化問題への取り組みを積極的に推進し、持続可能な地域の発展に寄与するため、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1 ATC 行動基準（※）に則り、環境保全と規律維持に努めます。

2 事業活動を通じて、以下に継続的に取り組み、
地球温暖化の緩和と持続可能な社会の構築に貢献します。

1. 二酸化炭素排出削減
2. 廃棄物排出削減
3. 水使用量削減
4. グリーン調達・グリーン購入の推進

3 企業、団体、自治体等と協働で環境や社会問題解決に率先して取り組み、産業を振興することでベイエリアを中心とした地域活性化につなげます。

4 来館者、取引先、株主、従業員などステークホルダーのみなさまと積極的にコミュニケーションをはかり
社会の要請に応じた企業価値の向上に努めます。

ATC 行動基準（※）

1 法令等の遵守
ATC は、法令の遵守はもとより、あらゆる場面で人権を尊重し、社会的良識をもって行動します。

2 社会的に有用なサービスの提供
ATCは多様化する消費者等のニーズに応えるとともに、安全かつ有用なサービスの提供に努めます。

3 長期的視野にたった経営
ATC は、短期的な収益のみにとらわれず、常に長期的な視野に立った経営を行います。

4 公正な取引
ATC は、公正かつ自由な競争の確保が市場経済の基本ルールとの認識のもとに商活動を行い、また、政治・行政との健全かつ正常で透明な関係を維持します。

5 企業情報の開示
ATC は、株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションをはかり、積極的に企業情報を正確かつ公正に、適時開示します。

6 環境保全への配慮
ATCは、環境問題への配慮を常に忘れず、自主的、積極的に取り組みます。

7 社会貢献
ATC は、企業の利益と社会の動きを調和させ、『よき企業市民』としての役割を積極的に果たします。

8 働きやすい職場環境の実現
ATCは、従業員のゆとりと豊かさを実現し、働きやすい環境を確保するとともに、従業員の人格・個性を最大限に尊重し、自由闊達で創造性の発揮できる企業風土を実現します。

9 反社会的勢力及び団体との対決
ATCは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力及び団体には断じて屈しません。

目次

環境経営方針		主な事業内容		環境経営組織・実績		社会・環境活動	
ごあいさつ	2	オフィス・ショールーム	4	組織の概要	6	環境経営方針に基づく取組み	14
環境経営方針	3	レストラン・ショップ	4	環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6	CO2 分科会	15
ATC行動基準	3	ウミエール広場	4	認証・登録の対象組織・活動	6	廃棄物分科会	16
		常設展示場・インキュベート施設	5	主な環境負荷の実績	7	SDGs 分科会	18
		イベントホール	5	環境経営目標及びその実績	7	万博分科会	20
				環境経営計画の取組結果とその評価	8	SDGs 取り組み一覧	22
				緊急事態対応の試行・訓練	13	代表者による全体の評価と見直し・指示	23
				環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	13	編集後記	23

主な事業内容

大型複合施設 ATC の運営・管理及び施設を使ったイベントや展示会の企画等を主な業務としています。オフィスやショールーム、イベントホールから、レストラン、ショップ、大規模展示場まで多彩に展開。さまざまなワークシーンに対応する大阪南港・咲洲地区の中核施設として、さまざまな方にご利用いただいています。

01 https://www.atc-estate.com オフィス・ショールーム

今、熱い視線が注がれるベイエリア。入居・出展企業が 400 社を超える ATC で、咲洲の企業とともに新たなビジネスチャンスを創り出しませんか？ ATC なら 5 坪程度のスモールオフィスから、ワンフロアで 1500 坪の広さまで、様々なニーズにお応えできます。充実の付帯設備も魅力。

入居企業 100社 以上

- 郵便局、銀行ATM、コンビニ、館内物流サービス等のテナントサポート
- 大型トラックヤード・荷捌場・大型エレベーター・倉庫・屋内駐車場を完備
- 関西物流網・交通網の一大拠点、大阪南港ベイエリアという価値ある立地
- 警備・設備ともに 24 時間スタッフが常駐

【PORT】2021年4月1日にオープンした入居企業専用の多目的型共有ラウンジ

海が望める開放感のあるオフィスや、ショールームのように使えるガラス張りのスペースもあります。

SOHO用のスモールオフィス

02 https://www.atc-co.com/restaurant レストラン・ショップ

ベイサイドを望む抜群のロケーションでお食事が楽しめます。カフェ・居酒屋・ファストフード等、様々なレストランの他、雑貨や靴、服飾関連の店舗も充実しています。

22店 ショップ

25店 カフェ レストラン

1,200台 駐車場

※店舗数は2021年7月1日現在

03 Umiere square ウミエール広場

全長 450mの海と空に開けたリラックスゾーン。屋外イベントにも対応しています。

ベイサイドに広がるウミエール広場

海をバックにした海辺のステージ

04 Showroom and Incubation 常設展示場・インキュベート施設 大阪市との連携事業

日本最大級の環境ビジネス常設展示場

おおさかATCグリーンエコプラザ

環境ビジネスや環境経営に取り組む企業・団体の最新情報を広く一般に紹介することを目的としており、SDGｓをはじめとして環境問題全般について学ぶことができる施設です。

https://www.ecoplaza.gr.jp

豊かな高齢社会をめざす介護と福祉の展示場

ATC エイジレスセンター

日本最大規模の介護・福祉・健康関連の常設展示場です。年齢やハンディに関係なく、誰もが豊かな人生を送るために開発された各種製品やサービスを展示。イベントやセミナーを随時実施しています。

https://www.ageless.gr.jp

世界の住宅建材・部材・設備の総合展示場

IHPC

デザイン性に優れた世界の建材・部材・設備やバス・洗面・キッチン・エクステリア等の総合展示場。住宅建材選びから、住まいづくり相談、建築業者選び、エコハウスに関する情報提供まで、ワンストップサービス機能を提供します。

https://www.atc-ihpc.com

先端技術を活用したビジネスのサポート拠点

ソフト産業プラザ TEQS

人をつなげ、テクノロジーをつなげ、ビジネスを育てることをミッションに、ビジネス開発から育成、実証まで、一気通貫による総合的なサポートを提供します。

https://teqs.jp

プロジェクト創出 × 人材育成拠点

iRooBO オープンテクノロジーセンター

ロボット・テクノロジーを見て触れるをテーマに、異分野の専門家の知恵・技術を組合せたプロジェクト創出と全世代・全分野のシームレスな人材育成を行う拠点です。

https://iroobo.jp

クリエイター独立・創業支援施設

大阪デザイン振興プラザ

クリエイター向けオフィスの設置や、セミナーなどの各種イベント、複合型商業施設である ATC とのコラボで、様々な自己発信の機会も提供します。

https://www.osaka-design.co.jp

05 https://atchall.com イベントホール

ATC ホール 7,000㎡

ATC ホール・コンベンションルーム・会議室

ワンフロアで総面積約 7,000 ㎡の多目的ホール、大小あわせて５つのホール、連動可能な12の会議室によりさまざまなイベントニーズにお応えいたします。

- Aホール (2,900㎡)
  (分割時1,600㎡、1,300㎡)
- Bホール (1,130㎡)
- Cホール〈ATC ミュージアム〉(1,000㎡)
- Dホール (270㎡)
- E ホール (250㎡)

A ホール

B ホール

組織の概要

名称及び代表者名
アジア太平洋トレードセンター株式会社
代表取締役社長　木村 繁

所在地
本社　大阪府大阪市住之江区南港北
　　2丁目1番10号

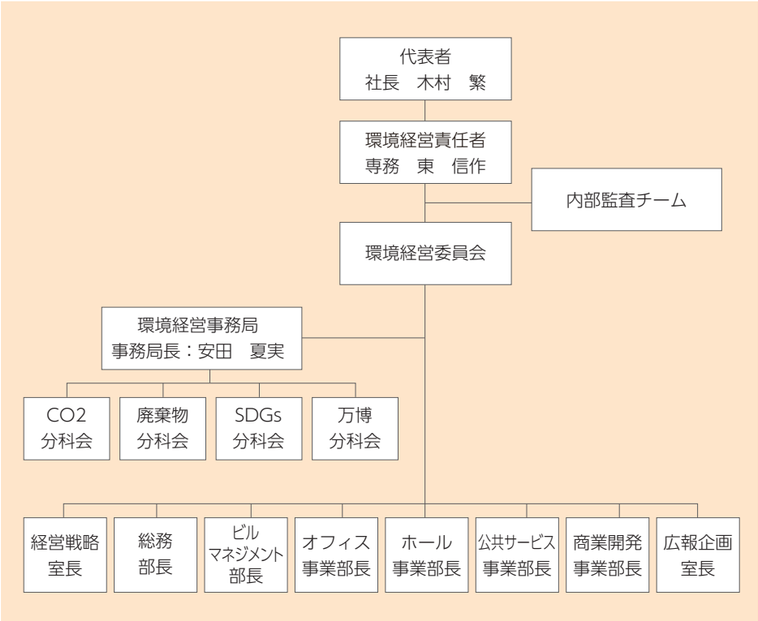
環境経営責任者及び担当者
責任者　専務取締役　東 信作
担当者　安田 夏実
連絡先　06-6615-5000

事業内容
不動産の賃貸及び管理、各種催物、
展示会の企画及び開催、駐車場運営 他

事業の規模
売上高 50.7 億円 (2020 年度)
従業員 59 名
延べ床面積 336,000 ㎡

事業年度
4月1日～3月31日

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



認証・登録の対象組織・活動

登録組織名
アジア太平洋トレードセンター株式会社

対象事業所
ATC ビル

対象外
なし

活動
不動産の賃貸及び管理、各種催物、
展示会の企画及び開催、駐車場運営 他

	役割・権限・責任
代表者(社長)	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境経営責任者を任命 環境経営方針の策定見直し 環境経営目標環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境経営責任者(専務)	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
内部監査チーム (監査役・総務部)	環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施報告
環境経営委員会	環境経営方針計画の審議 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境経営事務局 ※事務局長は原則毎年 各部門長で持ち回り	環境経営責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規など取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項　目			2018 年	2019 年	2020 年
二酸化炭素総排出量		kg-CO2	9,742,956	9,212,811	8,413,937
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	Kg	682,250	702,420	539,760
	産業廃棄物排出量	Kg	541,950	338,246	189,756
水使用量		㎥	108,480	103,933	75,334

※二酸化炭素排出係数 0.318kg-CO2/kWh（電力会社の調整後の係数）

環境経営目標及びその実績

項　目	年　度 / 目標比			基準値 (基準年)	2020 年 (目標)	2020 年 (実績)	目標比	達成状況	2021 年 (目標)
電力による二酸化炭素削減	ATCホール除く全館	98%○	kg-CO2	5,809,867	5,519,373	5,401,869	98%	○	5,513,563
			基準年度比	2019 年	95%	93%			94.9%
	売上高原単位		kWh/ 千円	3.09	2.93	3.34	ー	×	2.93
	ATCホール	101%×	kg-CO2	134,251	92,633	93,241	101%	×	114,650
			基準年度比	2019 年	69%	69%			85.4%
	稼働率原単位		kWh/ 日	1,636.33	1,129.06	2,327.07	ー	×	1,397.42
熱供給による二酸化炭素削減	ATCホール除く全館	96%○	kg-CO2	3,171,543	3,012,966	2,879,566	96%	○	2,901,962
			基準年度比	2019 年	95%	91%			91.5%
	売上高原単位		GJ/ 千円	0.0094	0.0089	0.0110	ー	×	0.0086
	ATCホール	42%○	kg-CO2	97,151	93,265	39,262	42%	○	92,293
			基準年度比	2019 年	96%	40%			95%
	稼働率原単位		GJ/ 日	0.00029	0.00028	0.00015	ー	○	0.00027
一般廃棄物の削減	全館	92%○	kg	702,420	590,033	539,760	92%	○	545,780
			基準年度比	2019 年	84%	77%			77.7%
産業廃棄物の削減	ATCホール除く全館	70%○	kg	305,126	268,511	187,406	70%	○	171,481
			基準年度比	2019 年	88%	61%			56.2%
	ATCホール	14%○	kg	33,120	17,222	2,350	14%	○	26.231
			基準年度比	2019 年	52%	7%			79.2%
コピー用紙の削減		86%○	枚	644,015	547,413	470,801	86%	○	510,704
			基準年度比	2019 年	85%	73%			79.3%
水道水の削減		73%○	㎥	103,933	102,894	75,334	73%	○	97,073
			基準年度比	2019 年	99%	72%			93.4%
グリーン調達・グリーン購入の推進		124%○	グリーン購入比率	12.9%	20.0%	24.8%	124%	○	40.0%
			基準年度比	2019 年	―	―			310%

環境経営計画の取組結果とその評価

CO2

電力による二酸化炭素削減

ATCホール除く全館
98%○

ATC ホール
101%×

目標比

ATC ホール除く全館

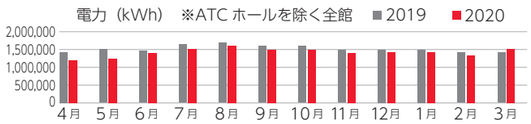
2017 年から取り組む LED 照明化で CO2 削減傾向に

2020年度は新型コロナウィルス感染症（以下、コロナ）の影響により、来場者が大幅に減少したことが CO2 削減にも影響しています。電力削減の取り組みとしては、2017年度から開始している照明のLED化により消費電力は削減傾向に。2019 年度は 2017年度比 86%と14% 削減を実現しています。

また、2018 年度より空調設備（ファンコイルユニット）更新工事を実施。これにより消費電力も約 4 割に。非常階段には人感センサー付きLED器具を設置したことで常時点灯が不要になり、来年度以降の削減につながる見込みです。

売上高単位では、売上が前期比 80%だったのに対して、電力使用量は前期比 91%と減少幅が小さいのは、コロナ対策により全館で換気を強化したためだと思われます。

数値目標と実績	達成状況
目標 5,519,373kg-CO2 ▶ 実績 5,401,869kg-CO2	○



取り組み計画	達成状況
こまめな電源の ON・OFF	○
エレベーターの 2 UP 3DOWN 運動	○
ノー残業デーは定時退社を促進	○
空調の適正温度設定を奨励	○
ファンコイルユニット（※1）更新工事	◎
非常階段の人感センサー付 LED 照明器具工事	◎
スポットライトの LED 化	△
賃貸スペースの LED 化に向けた調整	△
テナント店長会での勉強会の実施	△

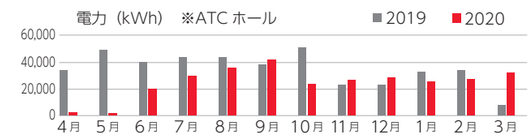
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった × 全くできなかった

ATC ホール

不使用時でも換気継続により目標をわずかにオーバー

ATC ホールの CO2 削減は目標にわずかに届かず、未達成となりました。ATC ホールの電力使用量はホール稼働率の影響を大きく受けます。本年のATCホール稼働率はコロナ禍の影響で大きく下回り前年度比 49%。 稼働率単位で見ると電力使用量（前期度比 60%）の減少が稼働率（前期比 49%）の減少に比べて小さいですが、これは湿気対策のためホールを使用していない時も換気運転を継続していたことが、影響していると考えられます。

数値目標と実績	達成状況
目標 92,633kg-CO2 ▶ 実績 93,241kg-CO2	×



取り組み計画	達成状況
清掃ロボットの導入	○
協力会社への節電の要請	△
C ホールの照明 LED 化	○

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった × 全くできなかった

CO2

熱供給による二酸化炭素削減

ATCホール除く全館
96%○

ATC ホール
42%○

目標比

ATC ホール除く全館

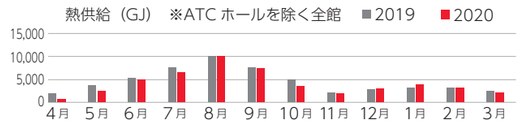
2018 年度よりファンコイルユニット更新で CO2 減少に貢献

2018年度より5カ年計画で、大型施設に適した省エネ効果のあるファンコイルユニットの更新工事を行い、電気使用量の削減を進めています。

ひと工夫！ 多様なエネルギーを活用した地域熱供給（地域冷暖房）を導入

地域熱供給（地域冷暖房）は、冷水や温水等を一箇所でまとめて製造し、導管を通じて街（建物）に供給するシステムです。当社はオープン以来、未利用エネルギーである海水を冷却水および熱源水に利用した地域冷暖房を使用しています。

数値目標と実績	達成状況
目標 3,012,966kg-CO2 ▶ 実績 2,879,566kg-CO2	○



取り組み計画	達成状況
空調の適正温度設定	○
ファンコイルユニット更新工事の実施	◎
適切な空調運転（電力使用デマンドコントロール）	○
啓発ステッカーの制作・配布とテナントへの協力要請	△
店長会での勉強会の実施	△
コスト削減効果の算出	△

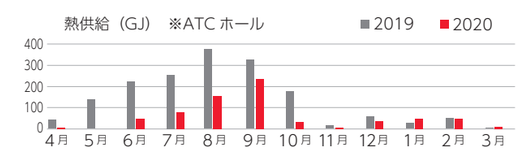
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった × 全くできなかった

ATC ホール

夏季イベントの一部中止により大幅削減

本年のATC ホール稼働率はコロナ禍の影響により、前年度比 49%と大きく下回りました。特に熱供給の使用量がピークとなる7月～9月のイベントが一部中止となったことで、熱供給量については大幅な削減となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標 93,265kg-CO2 ▶ 実績 39,262kg-CO2	○



取り組み計画	達成状況
利用者へ空調の適正温度の呼びかけ	×
協力会社への節電の要請	△

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった × 全くできなかった

環境経営計画の取組結果とその評価

廃棄物

一般廃棄物の削減

全館

92%○

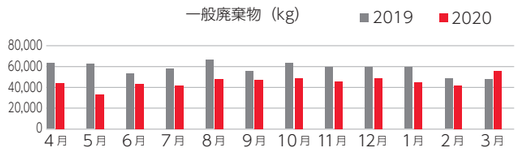
目標比

全館

ごみ分別の徹底が順調に推移し目標達成

2020年度は新型コロナウィルス感染症の影響により来場者が減少したことにより一般廃棄物量は削減となりました。事務所でのごみ分別の徹底は順調に推移。これらの取り組みを次年度以降は全館で取り組めるように推進していきます。

数値目標と実績	達成状況
目標 590,033kg ▶ 実績 539,760kg	○



取り組み計画	達成状況
ATC 事務所のごみの量の把握	◎
種類別排出量とフローの把握	◎
分別回収改善案の作成と実施	○
細かな分別の徹底	◎

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった × 全くできなかった

ごみを一般ごみ、ビン・カン、再生紙・シュレッダー、ペットボトル、キャップ、段ボール、新聞・雑誌、ボタン電池、鉄くずに分けて回収しています。

ここで回収できないものを張り紙で告知すると共に、処分方法について入居企業には書面等で周知しています。

FOCUS　ビルマネジメント部 村上 香苗

廃棄物処理は、長年協力会社さんに任せっきりでしたが、「まずは現状把握」と、処理フロー図の作成とマニフェストの確認を行うことで、意外ときちんとできていることが分かり自信が持てました。さらに、ごみ焼却工場に同行させてもらったり、環境局の冊子を読み込んだりして理解を深めた結果、ごみ処理要領の見直し、処分費の削減にもつながりました。

O's 棟のごみ処理室のごみ圧縮機をリニューアル。床やサインボードも合わせて改装しました。

廃棄物

産業廃棄物の削減

ATCホール除く全館

70%○

目標比

ATC ホール

14%○

ATC ホール除く全館

飲食店等から排出される量、種類、フローの把握を実施

2020年度は来館者やホール利用者の減少にともない、産業廃棄物は目標値よりも大幅に削減。そのなかで、飲食店から排出される廃プラスチックを中心とした産業廃棄物について、排出量、種類、フローの把握を実施しました。これにより、来年度以降委託業者と連携して削減に努める仕組みづくりができました。

数値目標と実績	達成状況
目標 268,511kg ▶ 実績 187,406kg	○

取り組み計画	達成状況
種類別排出量とフローの把握	◎
分別回収改善案の作成	○

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった × 全くできなかった

ATC ホール

利用企業や管理会社と連携して産業廃棄物削減を推進

2020年4月から2021年2月までの ATC ホール稼働率はコロナ禍の影響で大きく下回りました。その中でもホール利用企業と ATC 管理会社と連携しながら分別回収の推進による産業廃棄物の削減にいち早く取り組みました。これからもこの取り組みを広げていきます。

数値目標と実績	達成状況
目標 17,222kg ▶ 実績 2,350kg	○

取り組み計画	達成状況
種類別排出量とフローの把握	◎
分別回収改善案の作成と実施によるリサイクル率アップ	◎

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった × 全くできなかった

廃棄物

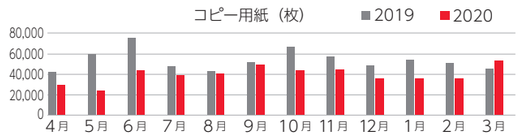
コピー用紙の削減

全館

86%○

目標比

数値目標と実績	達成状況
目標 547,413枚 ▶ 実績 470,801枚	○



会議のペーパーレス化やオンラインセミナーで紙削減

これまで当たり前に使っていた紙を、本当に必要かどうかを確認しながら使うようになりました。社内会議でのペーパーレス化を推進し、必要な資料はパソコンやタブレットで共有。コロナ禍でも積極的に実施している外部向けセミナーなどもオンライン化することで紙の使用量を削減。コピー用紙の分別や裏紙の使用なども徹底することで、目標達成することができました。

ひと工夫！　**事務所内のごみ箱の撤去**

個人用のごみ箱を撤去し、それぞれがフロアのごみ回収場所に捨てにいくことに。はじめは「不便!」という声がありましたが、次第に意識が変わり削減につながりました。足元にごみ箱がなくなることで非常時に避難しやすくBCPの観点からも効果的に。（総務部）

環境経営計画の取組結果とその評価

水道水

水道水の削減

全館

目標比 **73%○**

節水トイレへの切替えが進行中

2020 年度は新型コロナウィルス感染症の影響により来場者が減少したことで使用量は減少しました。手洗いを励行する一方で、節水トイレへの更新工事などできる対策を進めています。

数値目標と実績	達成状況
目標 102,894 m³ ▶ 実績 75,334 m³	○

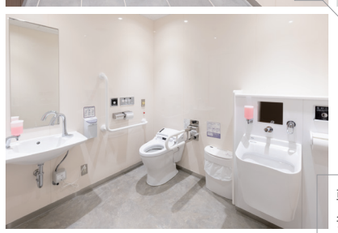
従来よりも少ない水量で洗浄できる節水トイレへの更新工事を進めています。

ITM 棟 2 階のトイレ（フェリーさんふらわあ待合室の奥）を全面リニューアル

ITM 棟 2 階のフェリーさんふらわあ待合室の奥にあったトイレを全面的にリニューアルしました。女性トイレには、広々としたパウダールームやおむつ交換台のあるトイレを設置するなど、使いやすさだけでなく居心地のよさにも配慮。多目的トイレも新設し、多くの方に気持ちよくご利用いただけます。

女性トイレ内の ゆとりのある パウダールーム

男性トイレもリニューアル



おむつ交換台を備えた 女性トイレ

車椅子もお使いいただける 多目的トイレ

グリーン調達

グリーン調達・グリーン購入の推進

ATC 事務所

目標比 **124%○**

数値目標と実績	達成状況
目標 20% ▶ 実績 24.8%	○

総務部を中心にグリーン購入を推進

総務部を中心にグリーン購入製品の選択比率をあげるようにしています。廃コピー用紙を名刺などにアップサイクルする PELP! の導入を推進。これまで一部の部署で導入してきましたが、今後全ての部門に広げていく計画です。

緊急事態対応の試行・訓練

南海トラフ地震を想定した訓練を定期的に実施

駿河湾から日向灘沖に伸びる南海トラフ。ここを震源とした巨大地震発生の可能性が高まってきていると言われています。来場者を含めた人々の生命を守るために、南海トラフ地震を想定した訓練を関係機関と協力して定期的に実施。状況把握から避難誘導、負傷者の搬送など、緊急事態を想定して訓練を行っています。

1 2020年9月29日

通報訓練　消火訓練　避難訓練

緊急事態の想定	南海トラフ地震が発生し、館内で、什器の転倒、天井、ガラスの落下、火災、負傷者が発生、初動対応後、津波が来襲する。
実施場所	ATCビル並びにピロティ広場
参 加 者	ATCビル、テナントの社員、198名
実施内容	南海トラフ地震が発生し、火災、負傷者が発生。付近のテナント従業員により、通報、初期消火。救護後、3階以下階の在館者を4階以上階へ津波避難した。 避難訓練終了後、訓練参加者全員が消火器操作訓練、AEDを使用した救命講習を実施した。
評　　価	手順書の変更の必要性　なし

2 2020年12月23日

災害対策本部・自衛消防本部隊設置　避難誘導　負傷者搬送　無線通信訓練

緊急事態の想定	南海トラフ地震が発生し、館内で什器の転倒。天井、ガラスの落下、火災、負傷者が発生、津波が来襲する。
実施場所	ATCビル
参 加 者	ATC社員、ビルマネジメント会社、警備、設備、清掃 43名
実施内容	火災、負傷者の発生に対応。初動活動実施後、3階以下階の在館者を4階以上階へ津波避難した。
評　　価	手順書の変更の必要性　なし

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法	空圧機、送風機、空調機
大阪府生活環境の保全等に関する条例	井戸（揚水機）
ビル管法	ATC ビル

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
省エネ法	エネルギー使用、輸送車両
温暖化対策推進法	エネルギー使用量1500KL以上
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
グリーン購入法	購入品・調達品、購入先・外注先
消防法（危険物）	危険物の保管

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

環境・社会活動について

ATCでは事業活動を通して環境や社会視点で情報発信しています。エコアクション21の活動を通して、環境経営方針に基づく取り組みを分科会ごとに社内活動や対外活動を行っています。

環境経営方針に基づく取組み

1 エコアクション21導入に向けた第一歩
環境経営委員会を設置

2020年7月、環境カウンセラーの先生を講師としてお招きし、エコアクション21導入のための勉強会を開始しました。その後、エコアクション21の認証・登録を短期間で目指すグリーン化プログラム（※）全4回を受講しながら、推進していくためのプロジェクトをスタートしました。原則月1回、環境経営事務局の活動の進捗や課題を環境経営委員会にて共有し議論をすすめ、対策につなげています。

※：グリーン化プログラム：エコアクション21の認証・登録を目指す事業者を複数社募り、審査員のアドバイスをもとに短期間で効率よくエコアクション21に取り組むための普及プログラム

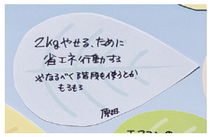
2020年度 会議の実績	環境経営事務局会議	環境経営委員会
	15回	5回

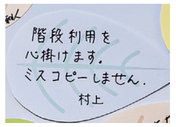
2 各部の情報共有に
エコアクション21掲示板の立ち上げ

オンライングループウェアのサイボウズ（※）上にエコアクション21の掲示板を立ち上げ、エコアクション21に関する社内の情報を共有。それぞれの活動や進捗状況がわかるため、有効に活用できています。

※サイボウズ：サイボウズ社の中小企業向けグループウェア。スケジュール共有、ワークフローなど、社内の情報共有のために採用しています。

3 社員一人一人が自分ごとに
エコアクションの木を設置





個人の行動目標を自筆で記したエコアクションの木をオフィス内に設置しています。全社員に自分ごととして取り組んでもらうために書いてもらいましたが、誰がどんなことを考えているのかがわかるなど、社内コミュニケーションの木としても育っているように感じています。

4 部署をまたぐ横軸で取り組む仕組みづくり
分科会の設置と活動

CO2分科会	廃棄物分科会	SDGs分科会	万博分科会
環境経営事務局	環境経営事務局	環境経営事務局	環境経営事務局

環境経営方針をもとに、4つの分科会を設置しました。2025年に開催される大阪・関西万博に関連した分科会も設置し、SDGsを加速させる取り組みを推進していきます。

環境経営事務局 CO2分科会

CO2分科会は、二酸化炭素排出抑制のための電力削減や再生可能エネルギーの導入の検討などが主な目的です。そのため、照明設備のLED化や省エネ効率のよい空調設備など大型設備の更新工事も実施。また、最先端ロボティクスの実証実験に協力するなど、先端テクノロジーをいかした電力削減にも取り組みました。（各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています）

CO2 01 設備の更新

ファンコイルユニット約400台の更新工事が完了（3月）

2018年度からスタートした更新工事。2020年度は416台の更新を実施しました。

非常階段の人感センサ付きLED照明器具284台の工事完了（11月）

非常階段に設置した人感センサ付き LED 照明。人を感知した時のみ点灯し、しかも LED 照明のため消費電力の削減ができました。

ATCホールLED更新工事が完了（3月）

ホールの LED 更新工事完了にともない、消費電力、CO2 ともに従来の 1/3 となります。

消費電力&CO2 1/3

CO2 02 ATCホール節電の検証

ATCホールでは、設営・撤去時の節電方法を検証しました。これまで節電のため照明はダウンライトのみで作業していましたが、検証の結果ダウンライトではなくバトンLED照明（照度30%）のみで作業することで、照度は確保しながら電力量が21%に削減できることがわかりました。今後はこの方法を主催者に推奨しコスト削減にもつなげ、お客様満足度の向上に努めます。

CO2 03 再生可能エネルギーの導入

来年度の電力供給会社選定基準において、二酸化炭素排出量についても評価対象とし、再生可能エネルギーを導入することになりました。

CO2 04 ATCホールでの実証実験

当社では、最先端ロボティクスの実証実験支援を実施しています。その一環として、ATCホールを使いソフトバンクロボティクス社の清掃ロボットの導入実験を実施。この実験では清掃時間が人が行うのに比べて1/3に短縮され、大幅な時間削減が可能になることがわかりました。

清掃時間 1/3

CO2 05 ソフトバンクロボティクス社清掃ロボット導入セミナー

80社ほどが参加したソフトバンクロボティクス社の清掃ロボット導入事例セミナーに、ATCホール担当者が登壇。SDGsに貢献する事例として、清掃ロボットの実証実験について紹介しました。

FOCUS

ホール事業部
前川 真毅

コロナウイルス感染症拡大に伴い状況が一変する中、エコアクション21の取得に向け動き出せたことは、非常に良い経験となりました。今までと違う新しい取り組みを行うことで、ホールをご利用のお客様にも、良い条件を見出すことができました。ロボット清掃実験では、本来は、人員不足などの課題解決として稼働していましたが、CO2削減にも貢献するという発見もありました。今後も環境に配慮しながら、新たなメリットを創出できるように進めていきます。

環境経営方針に基づく取組み

環境経営事務局 廃棄物分科会

廃棄物委員会では、ごみの量を把握し見える化を推進。これまで、あまり気にせず捨てていたものを分別し、その量を計測し続けることで、意識が変わり、ごみに対する見方も変わってきました。ごみを分別し、いかに削減するのか。さまざまな取り組みの結果、廃棄量コストの大幅削減に繋げました。

（各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています）

廃棄物 01 設備の更新

オズ棟のごみを圧縮する機械（コンパクター）をリニューアル。同時に空調機器の更新と、内装改修などにより、ごみ集積所全体を分別がしやすい環境に整備しました。

廃棄物 02 ATC事務所のごみの量の把握と分別

ATC事務所のそれぞれのごみの量を把握するために分別回収を行い、定期的に計測しました。

リサイクル可能な紙類の分別と量の把握：189kg
ビン：1本　缶：83本　ペットボトル：747本
シュレッダー用紙の量の把握：292kg
※2020年11月～2021年3月31日の実績

12階ATC事務所内のごみ箱を撤去しました。

個人のごみ箱を撤去すると、各人がごみを減らす意識が想像以上に高まり、事務所内のごみ削減に効果がありました。

廃棄物 03 PELP!の取組み

公共サービス事業部では、エコプラザ出展者である山陽製紙株式会社様の取組み「コピー用紙を資源にかえるアップサイクルサービス」を2019年度から導入。社員の名刺はPELP！の再生紙を使用しています。お客様から用紙について尋ねられることもしばしば。今後は用紙の削減と同時にPELP！の推進を図っていきます。

廃棄物 04 会議のペーパレス化

ホール事業部、オフィス事業部では会社から支給されたタブレットを活用し、ペーパレス化に取り組んでいます。

他にも経営会議や各部の週次、月次会議の資料をペーパレス化しました。

コロナ禍でセミナーがオンラインとなった公共サービス事業部では57.7％、経営会議を担当する経営戦略室では63.0％になりました。

廃棄物 05 業務効率化に向けた文書電子化事前準備の実施

コロナ禍にともない、業務効率化に向けた文書電子化プロジェクトを発足。来年度の実装にむけコンサルタントの決定、各部へのヒアリングなどを実施しました。

廃棄物 06 ATCホール貸館催事のごみの分別推進

ATCホールで開催された催事で、ごみの分別を推進しました。「びん」「缶」「廃プラスチック」「ダンボール」等に分別することで、ホール利用者様の費用削減にもつながりました。飲食系の催事（3月）でも試験的に実施しましたが、出展企業への周知徹底や、計量方法の統一化など新たな課題も見つかりました。

廃棄物 07 ATC館内・周辺清掃（クリーンアップ作戦）

毎月第3金曜日に社員全員参加のクリーンアップ作戦を実施

建物周辺部や普段はあまり手をいれない館内の共用部分を清掃しています。10月より入居企業様も「自分たちの働く場所を美しくしたい」という思いから、自主的に参加していただいています。

廃棄物 08 新規開店における設備、備品のリユース、リサイクル推進

新規開店における設備＋備品を可能な限り再利用し、産業廃棄物を軽減する取り組みを行いました。

この店舗の什器も多くが再利用されています。

廃棄物 09 環境推進企業へのヒアリングの実施

「大阪市環境事業局長賞」を受賞されたOCAT様に、廃棄物削減に関して、店舗にご協力いただくための方法についてヒアリングを実施しました。

廃棄物 10 大阪市環境局立ち入り検査

大阪市環境局の立ち入り検査で、ごみ集積所、産業廃棄物保管場所（リサイクル室）等を確認。PELP名刺、新設の紙ごみ分類コーナー、エコアクションの木もご確認いただきました。まだエコアクション21の取り組みをはじめて間がない時（10月）でしたが、おおむね適正に処理されていると評価され、2年前の検査時より10ポイントの改善が達成されました。

FOCUS

広報企画室
田中 真由美

毎月のクリーンアップ作戦に参加しています。ごみを拾っていると、これまであまり気にせず捨てていたものに対して意識するようになりました。自分が使ったものが、どのような形で廃棄され処分されるのかを考えることは、SDGsのゴール12「つくる責任、つかう責任」にもつながります。これからもこの活動を続けていきます。

環境経営方針に基づく取組み

環境経営事務局
SDGs 分科会

2020年、大阪府・市は内閣府の「SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業」に選定されました。2025年には隣接する夢洲でSDGsの達成を目指す、大阪・関西万博が開催されます。自治体や地域、企業がともにSDGs達成に向けて動き始めている大阪咲洲地区。ATCでも地域や企業間で連携し、SDGs達成のための取り組みをすすめています。

（各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています）

SDGs 01 公共サービス事業部の取り組み

日本最大級の環境ビジネス常設展示場
おおさかATCグリーンエコプラザ

面積4,500㎡　出展者数95社（2021年3月末）

オンライン見学会

大阪府下の小学校教育委員会向けにオンライン見学会を開催。9名の先生に参加していただきました。

アンケートから一部紹介

- 現地の方とオンラインでやりとりできるのは（作られた）映像を見るより「見学」らしくてよかったです。
- オンラインでもクイズなどで興味をもって楽しく勉強できる良い取り組みだと思いました。

エコプラザSDGs取材班による「SDGsの宝箱」を連載

大企業、中小企業を問わず、SDGs先進企業を取材。これからSDGsに取り組もうとしている企業のみなさんに参考にしていただき、SDGs達成のための取組み拡大に寄与することを目的としています。（2020年度8社掲載）

セミナー・イベント

コロナ禍でも、オンラインを使って積極的にセミナーやイベントを開催しました。リアルやオンラインセミナーの開催はもちろん、リアルとオンラインを併用してのセミナーや勉強会のノウハウも蓄積できています。

実施した主なセミナー

1）SDGs・環境経営関連セミナー

7/16他　エコプラザカレッジ2020「今さら聞けないSDGs」計9回 合計483名
8/4他　エコアクション21構築支援スクール計4回 合計70名
12/8他　BCP・レジリエンス認証構築支援スクール計4回 合計4名

2）SDGs関連ビジネスセミナー・イベント

中小企業にとってのSDGsについて
スマートウェルネスオフィスの最新動向と取り組み事例
エコプラザビジネス交流会総会
気候非常事態宣言（CED）について考える…他多数

3）SDGsビジネス研究会活動

業界別・企業のSDGsの取り組み方とその目的について考える勉強会
・SDGsビジネス研究会分科会　基礎編
・SDGsビジネス研究会分科会　ビジネス創出編
・SDGsビジネス研究会分科会　発信編

4）水土壌汚染対策研究部会活動

水・土壌汚染対策研究部会…他

5）一般向けセミナー・イベント

「万博×環境未来を描こうプロジェクト」アイデア発表会
大阪ATCこどもエコクラブ交流会
Eco検定受験対策セミナー…他

豊かな高齢社会をめざす介護と福祉の展示場
ATCエイジレスセンター

面積5,000㎡　出展者数76社　（2021年3月末）

オンライン勉強会

小学校とZOOMでつなぎ、介護と福祉についてオリジナル動画とスタッフの解説で楽しく勉強していただきました。

セミナー・イベント

①福祉・介護施設向けセミナー
医療・介護施設のマネジメント
介護施設における感染症対策
介護レクセミナー
地域で一番人気！介護福祉施設づくり
2021年度介護保険法改正＆介護報酬改定直前セミナー…他

②看護・介護・福祉専門職向けセミナー
看護・介護・福祉専門職向けのためのケア基本研修2020
ケアマネジメント事例研究会…他

SDGs 02 大阪ベイエリアMICE サステナブル行動宣言の策定

大阪夢洲での大阪・関西万博とその関連イベントを見据え、大阪ベイエリアにおいてサステナブル行動宣言を策定しました。今後大阪ベイエリアMICEパンフレット等に掲載予定です。

Osaka Bay Area MICE
サステナブル行動宣言
～SDGsの達成に向けて～

世界の住宅建材・部材・設備の総合展示場
ATC輸入住宅促進センター

面積3,200㎡　出展者数109社　（2021年3月末）

WOOD MEETSゾーン開設

国内の地域産材ショールームを8月に開設。地産地消の建築建材の提案や国内外の計画的な森林経営がなされた建築材料を提案するゾーンです。

セミナー・イベント

①エコハウス普及促進セミナー
Withコロナ時代におけるエコハウス
ニューノーマル時代における家づくりとエコハウスのあり方
地域資源も活かしてエネルギーと経済を循環させる…他

②その他SDGs関連セミナー・イベント
オンライン・デザインシンポジウム「デザイン新常態2rd/3rd」
デザインカンファレンスオンラインシンポジウム
「～しまねの木ブランディング～展示・オンラインセミナー」
「建築・インテリアデザインのトレンド予想～新しい時代へ～」…他

FOCUS
公共サービス事業部
北澤 弘行

2020年度は、コロナウイルス感染症問題や脱炭素、デジタル活用に向けた取り組みなど、今までの社会とは異なる、ニューノーマル(新常態)時代が到来しました。これからの新しい時代を切り開くべく、エコアクション21や公共サービス事業部の取り組みを通じて、地球温暖化問題や地域の発展に寄与していければと考えています。

環境経営方針に基づく取組み

環境経営事務局

万博分科会

大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。ATCは、2025TEAM EXPO共創パートナーに参画。万博に隣接する咲洲という地の利もいかし、未来社会をどのようにデザインできるか、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。万博分科会は部署を横断する組織として、各プロジェクトの推進に寄与しています。

(各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています)

万博 01 大阪・咲洲から万博につなげる100プロジェクト

2025年に開催される大阪・関西万博を契機に、新しいサービスや製品の創出に向けて、咲洲をフィールドに様々な企業が協業で取り組むプロジェクト。実証実験の場の提供やネットワーク創出など Business Gate Way ATCに関わる施設やコミュニティマネージャーがサポートします。

コミュニティマネージャー(CM)連携会(※)の取り組みのひとつ「5G X LAB OSAKA」を100プロに

CM連携会(※)で行うプロジェクトの一つ「5G X LAB OSAKA」を100プロジェクトの1つとして取り上げました。万博を見据えた5Gの実験室として、ビジネス創出に取り組む様子を取材しました。

※CM連携会:ATCに集積するテクノロジー、環境・SDGs、介護・福祉、クリエイティブ、住関連等の専門家からなるコミュニティマネージャー(CM)連携会。

万博 02 先端技術の開発支援フロア

先端技術で社会課題の解決を目指す企業・団体を優遇賃料で支援するフロアを設置しました。製品やサービスの社会実装や収益化までサポートします。

フロアの内覧会を実施

ITM棟3階に設置した先端技術開発支援フロアで内覧会を実施。大阪・関西万博での運用を見据えて、自律走行と自動追従型モビリティの実用化を目指す「ロボリューション」と共に、体験会を行い17社が参加されました。

FOCUS

オフィス事業部
井上 雄二

当社自体がいくつもの事業を創造するわけではありませんので、先端技術を持つ事業者とそのテクノロジーをサービスにできる事業者をつなげ醸成させる「場」があり、サポートできる「人財」がそろっていることが、ATCの持ち味だと思っています。

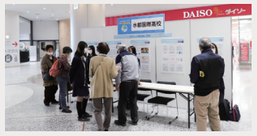
ATCでの実証実験を経て生み出されたサービスやプロダクトが、社会に実装されている2025大阪・関西万博を見てみたいですし、わたしたちの取り組みがアフターEXPOの大阪ベイエリアの発展に寄与していくと考えています。

万博 03 ATC海洋WEEK

「大阪湾の海」について、学び、考え、体験するイベント「ATC海洋WEEK」。若手社員が企画したATCの複合施設の強みを活かした取り組みで万博を契機として、SDGsへの取り組みを加速させ、パートナー企業とのサステナブルなビジネス創出に繋げていくことを目的としています。

万博に向けた新たな取り組みがスタート

大阪府の緊急事態宣言明けの3月17日〜21日、新型コロナウイルス感染症対策を万全にして「ATC海洋WEEK」を開催しました。前半の平日は同時開催のシーフードショー会場で、ビジネス向けセミナーを実施。後半は、一般向けに、ダイバーによる海中のごみ拾いや海洋プラスチックを使って万華鏡を作るワークショップ、身近な大阪湾の魚を学べるセミナーを開催。また、近隣の高校生グループによるSDGsのポスター展示も好評でした。



発案から企画・運営の中心となった実行委員会のスタッフ
左から大森、石川、前川

万博 04 咲洲こどもEXPO

大阪の未来を担うこどもの創造力をはぐくみ、チャレンジを応援する大規模イベント。毎年11月に文化・環境・医療・スポーツなど多様なプログラムが集まり、周辺企業・学校・行政と一緒に地域活性化に取り組んでいます。

コロナ禍の2020年度も開催

2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策を万全にするため、規模を縮小して開催しました。大阪・関西万博PRブースやSDGsスタンプラリーなど新しい試みも実施。スタンプラリーには1,528人の方にご参加いただきました。

万博 05 その他の取組み

万博×環境　未来を描こうプロジェクト報告会

大阪府との共催で、2025年大阪・関西万博に向け、多くの若者から、実現して欲しい環境・まちづくり等の様々なアイデアを集約して発信する「万博×環境　未来を描こうプロジェクト」を設立。公募で集まった高校生や大学生と複数回にわたってアイデア出しや検討会を実施。3月25日にオンラインで報告会を開催しました。

SDGs 取り組み一覧

2020年度の各分科会の主な取り組みをSDGsのゴールに紐づけています。それらを一覧にすると、取り組めているゴール、着手できていないところがわかります。次年度以降、引き続き重点的に取り組む項目のほか、まだ○の付いていない項目の社会課題への取り組みにも活かしていきます。

	項　目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
CO2分科会 P.15	ファンコイルユニットの更新工事が完了													○				
	非常階段の人感センサ付 LED 照明器具の工事完了													○				
	ATC ホール LED 更新工事が完了													○				
	ATC ホール節電の検証													○				
	再生可能エネルギーの導入							○										
	ATC ホールでの実証実験									○								○
	ソフトバンクロボティクス社清掃ロボット導入セミナー									○								○
	グリーン調達・グリーン購入の推進												○					
廃棄物分科会 P.16	ゴミ処理室の設備更新												○					
	ATC 事務所のゴミの量の把握と分別												○					
	PELP !の取組み												○					
	会議のペーパレス化												○					
	ATC ホール貸館催事のゴミの分別推進												○					
	ATC 館内・周辺清掃(クリーンアップ作戦)												○					
	新規開店における設備、備品のリユース、リサイクル推進												○					
SDGs分科会 P.18	おおさか ATC グリーンエコプラザ				○					○			○	○				○
	ATC エイジレスセンター			○	○							○						○
	ATC 輸入住宅促進センター			○								○		○		○		○
	ベイエリアMICE サステナブル行動宣言の策定												○					
	節水トイレへの切り変えを進行中						○											
万博分科会 P.20	大阪・咲洲から万博につなげる100プロジェクト				○					○								○
	先端技術の開発支援フロア									○								
	ATC 海洋 WEEK				○									○	○			○
	咲洲こども EXPO				○													○

代表者による全体の評価と見直し・指示

項　目		目標値達成状況	目標値達成状況(原単位)	2020 年度
電力による二酸化炭素削減	(ATCホール除く全館)	○	×	コロナによる来館者減と LED、空調設備更新等で目標達成。コロナによる換気励行により原単位は未達成となる。
	(ATCホール)	○	×	コロナによる稼働率減と LED で目標達成したが、コロナによる換気励行により原単位は未達成。
熱供給による二酸化炭素削減	(ATCホール除く全館)	○	×	コロナによる来館者減と空調設備更新等で目標は達成。コロナによる換気励行により原単位は未達成に終わる。
	(ATCホール)	○	○	特に使用量がピークとなる夏イベント一部中止により目標達成。
一般廃棄物の削減（全館）		○	○	来館者減による削減で目標達成。ATC 事務所で分別を推進。
産業廃棄物の削減（ATCホール除く全館）		○	○	来館者減による削減で目標達成。フローを把握し、今後さらに分別を推進する。
産業廃棄物の削減（ATCホール）		○	○	ホール利用企業や ATC 清掃会社と連携し削減に取り組んだ。
コピー用紙削減		○	○	分別や裏紙の使用を徹底。会議のペーパレス化やオンラインセミナーにより目標達成。
水道水の削減		○	○	節水トイレ更新とコロナによる来館者減により目標達成。
グリーン調達・グリーン購入の推進		○	○	できるだけグリーン購入法適合商品を選択をすすめている。
SDGs の取組みと情報発信		-	-	エコアクション21を通じてSDGsの取り組みを発信。公共サービス事業部の事業やATCホールでのサスティナビリティガイドライン策定などの取り組みを開始。
万博を契機とした産業振興		-	-	万博（Society5.0SDGs）をキーワードにプロジェクト創出と企業誘致を実施
社会の要請に応じた企業価値向上		-	-	エコアクション 21 の取り組みを開始

当社は、環境ビジネスと介護・福祉をテーマとする常設展示場を大阪市とともに運営しております。両展示場は 2008 年よりエコアクション 21の認定を受けてまいりましたが、環境経営に対する社会的要請の高まりを受け、それを会社全体としての取り組みに発展させる必要性を感じておりました。そのような中、コロナ禍により経営環境が大きく変わったことが一つの契機になり、全社でエコアクション21に取り組んではどうかという提案が社員から出てまいりました。息長く活動を続けていくためには望ましい形ですので直ちに提案を採用することにしましたが、その後、政府による脱炭素宣言が出されましたことから結果的に時宜を得たスタートになったように思います。

活動に先立ち環境経営方針の策定に取り掛かりましたが、既存の経営計画や企業行動基準を参照しながら議論をしました。テーマに関係しない部署はなく、それぞれが部門の垣根を越えて意見を交換する良い機会となりました。「測定なくして改善なし」とよく言われますが、活動は実態の数値を把握するところから始めました。それを見ますと、不十分なところも多々ある一方、意外と出来ているところもありました。いずれにしても、当社が存在することにより生じる環境負荷を十分に認識できていなかったことがよくわかりました。

初年度は、来館者が大きく減少するなど、コロナ禍の影響が事業活動に大きな影響を与えたため、目標の設定並びに達成状況の評価が難しい年でした。次年度以降、事業活動量の変動に大きく影響されないように原単位を用いた目標設定に移行していく必要性を感じています。

今後、役職員全員が環境経営の考え方を学び、テナント様、取引先等のご協力もいただくことにより、当社が持続可能な社会の構成員としてふさわしい企業になれるようにしていきたいと思います。

代表取締役社長　木村 繁

編集後記

公共サービス事業部
柳大路 安治

エコアクション 21 認証に関して、当社では先に2009 年 2 月に ITM 棟11階のおおさか ATC グリーンエコプラザと ATC エイジレスセンターで認証取得していました。今回は対象を全社に広げることで一からの作業となり、これまでに比べて業務量がかなり増加しましたが、今回無事取得することができほっとしました。

環境経営事務局
安田　夏実

「あきらめなければ必ず取得できます」という環境カウンセラーの先生の言葉を信じて昨年 7 月から取り組んできました。環境経営方針の策定、目標の設定、全社員への説明など振り返れば「よ～やったなぁ」と思います。社長、専務から厳しくも温かく後押しをいただきながら、担当部署とともに取り組んだ現状の把握（数字との格闘!）、若手社員による新しいアイデアの提案や取組みのスタートなど、予想以上の成果を得ることができました。内容的には改善の余地が多々ありますが、継続することで、ATC が来場者、入居者、協力会社や地域のみなさん、そして社員から今まで以上に愛される施設になることを願ってやみません。

最後になりましたが、度重なる質問や相談にも粘り強くご指導いただいた環境カウンセラーの諸先生方にお礼申し上げます。

表紙のデザイン

カラーボールは 2020 年度に ATC が取り組んだ
SDGs のゴールを現しており
大きさは取り組みのゴールマークの数に
比例しています。

ASIA AND PACIFIC TRADE CENTER

アジア太平洋トレードセンター株式会社

大阪府大阪市住之江区南港北 2 丁目 1 番 10 号
TEL. 06-6615-5000

https://www.atc-co.com